

どこでも一人で食べられる食具の提案

チーム：お味噌汁ごくごく倶楽部

赤川香音 石田光穂 岩佐和 上田三桜 梅原凜花 難波陽奈

〈テーマ〉

どこでも(病院、在宅、外出先)でも使える食具の提供

〈コンセプト〉

半側空間無視の無視空間に対して注意を向ける

〈対象疾患〉

半側空間無視

〈対象者〉

特に食事場面における無視空間への食べ残しがある人

↑ そのために一人でご飯を作ることが出来ず食事に介助を要する人

障害によって注意が向きにくく食事場面で促しを必要とする人に対して、

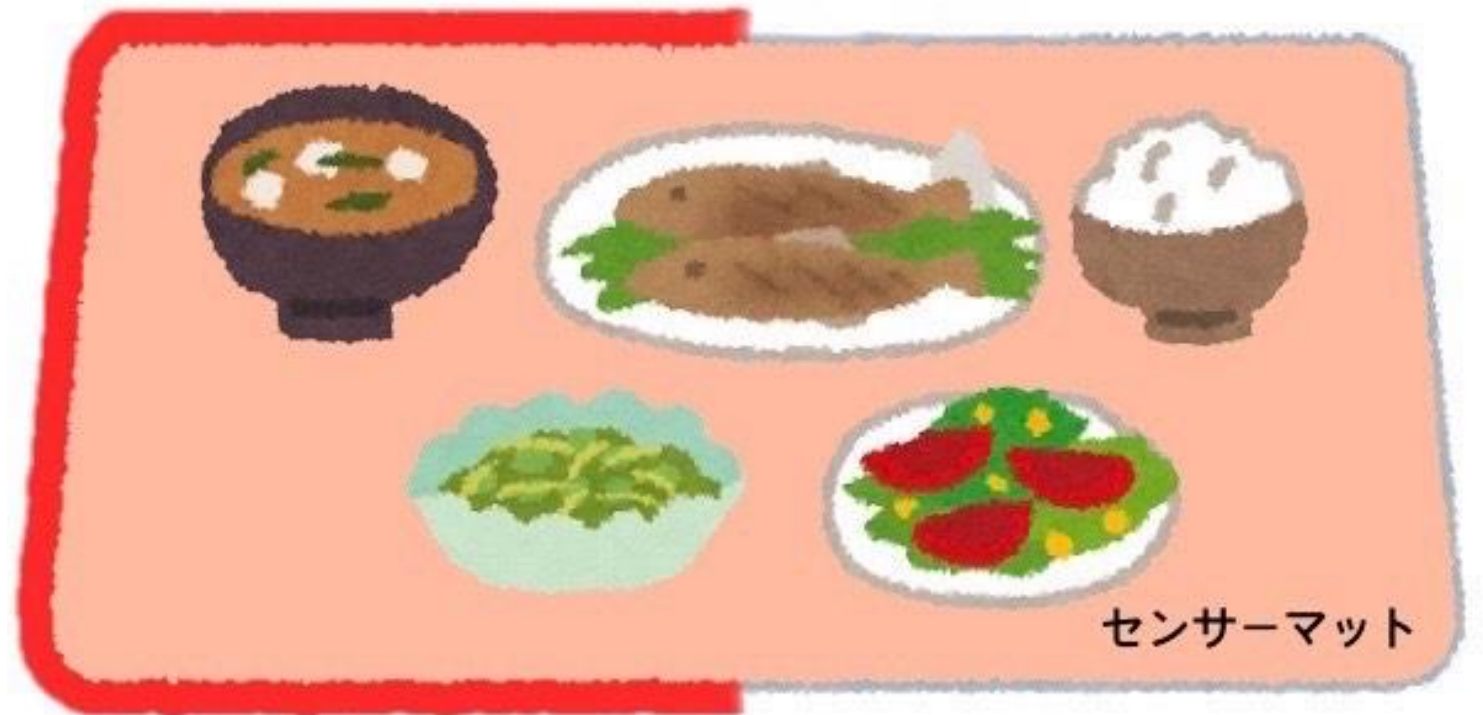
- ①茶碗の周囲に伸縮性が高く発光するバンドを巻き付け、点滅する**光刺激**によって注意を促す。
- ②茶碗の底にスイッチをはめ込み、そのスイッチが食器をマットに置くことによって光る。

ポイント☆

伸縮する素材(シリコンやゴムなど)を使うことで異なる茶碗の形に対応することが出来る
点滅刺激の方が常時点灯よりも注意が向きやすい(実習の経験より)

マットやバンドなど持ち運びしやすいものを提供することによってさまざまな場面で使える

イメージ図



機能

マット→お盆の半分を無視してしまう人

バンド→茶碗の半分を無視してしまう人

価格

茶碗用のバンド 3000円

ランチヨンマット 5000円